

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。


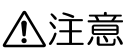
 TRK33/46 TREKKER	適応車種	商品NO.
	モノキーベース用	_____

■ ご使用前に必ずご確認ください ■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※この商品は予告なく、仕様及び標準価格を変更する場合があります。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
	注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
		 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

警告

- ・ ケースおよびキャリアや本体の指定積載上限を必ず守って下さい。
(1ケースあたり最大積載量：10kg※テイトナでは、操縦性を考慮し3kg以下を推奨)



禁止

- ・ 組み付け作業には専門知識と技術が必要です。信頼できる販売店にご依頼下さい。
- ・ 激しいオフロード走行をしないで下さい。
- ・ 公道に限らず100 km/h以下で走行して下さい。
- ・ 以上に抵触した場合は、商品の破損や車体の損傷を招くだけでなく、事故を誘発しお客様が重傷を負ったり死亡する可能性があります。また第三者の財産や生命を損なう恐れがあります。
- ・ 走行中に異常が発生したと思われる場合は、直ちにバイクを安全な場所に停止し、異常箇所を点検して下さい。

注意

ケースのフタを閉める時に荷物を挟んでいないか確認して下さい。破損や変形の可能性があります。

- ・ 使用状況、または使用環境によりケース内部が高温になる場合があります。
- ・ 防水性を考慮した設計をしておりますが、完全防水ではありません。(積荷をポリエチレン袋で密閉するなどの措置を講じてください。) また、濡れた荷物を入れるとカビなどの原因になります。



実施

- ・ ケースへ入れた荷物の傷や破損等があっても、当社では一切荷物の補償は致しかねます。予めご了承ください。
- ・ 組付け作業が終わるまでエンジン始動、走行は行わないで下さい。
- ・ 定期点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となります。必ず実施して下さい。
- ・ この商品をつかんでメインスタンド掛けや車体の取回しをしないで下さい。破損や変形の可能性があります。
- ・ 施錠しても盗難を完全には防止できません。車両を離れるときは、貴重品を入れない、ケースを外して持ち歩くなどの自己防衛が必要です。

・ 内外装の袋は焼却してもダイオキシンの発生がないポリエチレンを使用していますが、廃棄する際は必ず地域の条例に従って処分するようお願いいたします。

・ 警告、注意など本紙に記載の事項を無視して発生したいかなる不具合に対しても株式会社デイトナおよびイタリアGIVI社は一切の責任を負いません。

・ 本書に記載の価格はすべて税込み価格です。

- ・車両重量の増加と重心変化、空気抵抗等の理由によりハンドリングおよびブレーキ性能等が悪化します。予めご了承ください。（このような症状は、タイヤの磨耗、空気圧の低下、ステムやホイール、スイングアームのベアリング類の磨耗などによっても発生します。定期的に整備してください。）
- ・塗装や傷、メッキ等の仕上がり、表面仕上げ状態についてのクレームは受け付けておりません。予めご了承ください。
- ・組付けは取り付け手順に従ってください。
- ・組付け作業が終わるまでエンジン始動、走行は行わないでください。
- ・この商品は指定部品のため通常の継続車検を適用できます。構造変更届けは不要です。
- ・このケースは、モノキーベース（M2、M5、M35）または、チューブラーバニアホルダー（PLシリーズ）専用です。モノキーベース、チューブラーバニアホルダーは別売りです。詳細は総合カタログまたはGIVI 専用ホームページ <http://www.givi-jp.com> をご参照下さい。



その他

- ・補修用キーについて
GIVIケースは、キーシリンダーにナンバーが刻印されている為、防犯上の理由からキーのみの供給はしていません。万一紛失してしまった場合はカギ専門店等で解錠した上で下記キーセットに交換してください。補修用とオプションのキーは赤色になります。予めご了承ください。

※ 補修用キー&シリンダーセット 商品NO、36394/価格¥1,260（税込）

〈オプション〉

- ・複数のケースをご使用になるお客様にはセიმナンバーキー3本セットをご用意してあります。

※セიმナンバーキー3本セット 商品NO、35293/価格¥3,570（税込）

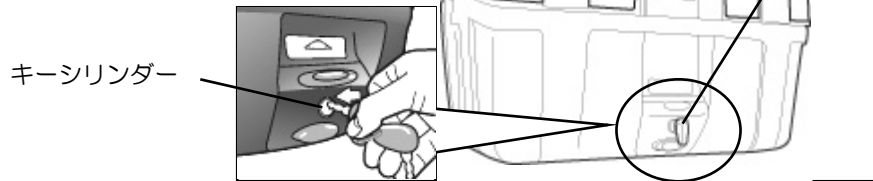
商品内容

	パーツ名	数量	NO	パーツ名	数量
①	ケース	1	②	キー	2

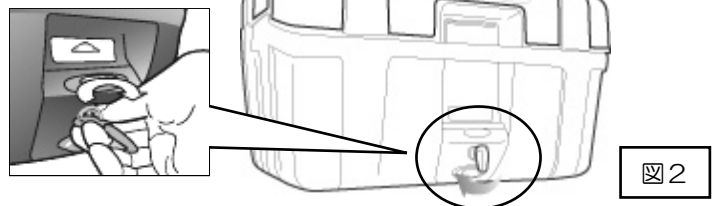
使用方法

1. ①ケースを開く

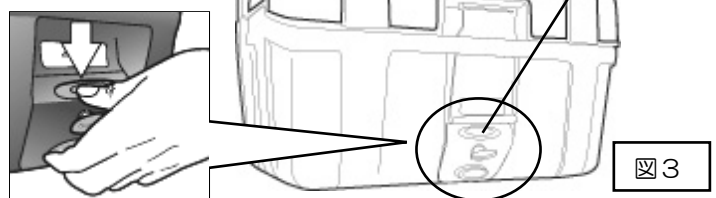
1-1. ①ケースのキーシリンダーに②キーを差し込みます。（図1参照）



1-2. ②キーを右（時計方向）に回し、3時方向の位置に合わせます。（図2参照）



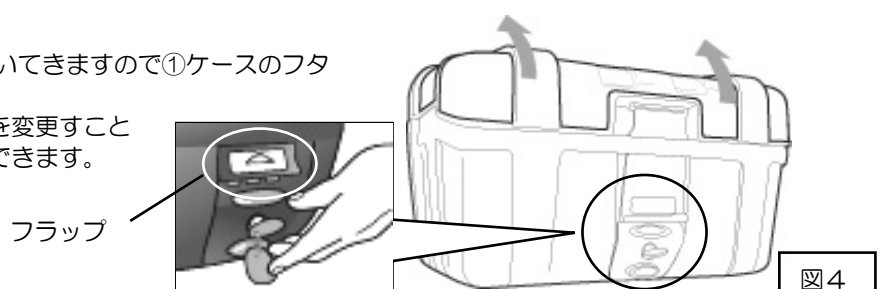
1-3. キーシリンダー上部、楕円の③ボタンを押すとケースのロックが解除されます。（図3参照）



1-4. 「PRESS」と書かれたフラップが浮いてきますので①ケースのフタを持ち上げます。（図4参照）

*ケース内部にある④ロックの位置を変更することでフタの開く位置を変更することができます。

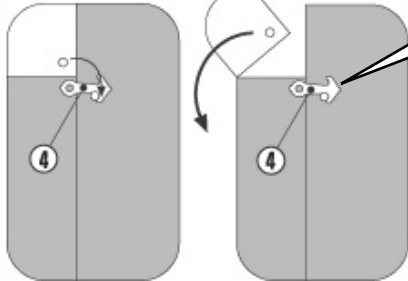
（図A,B参照）



A

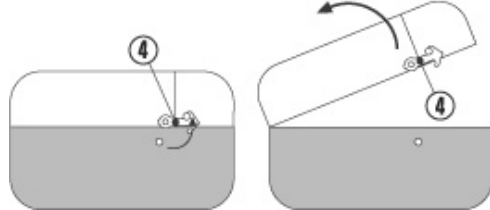


△注意
 走行中の振動等でロックが外れるのを防ぐため、ロックの操作は固くなっています。



パニアケースとして使用する場合

B



トップケースとして使用する場合

2. ①ケースを閉じる

2-1.キーがキーシリンダーへ差し込まれ、キーが右（3時方向）へまわされていることを確認し、①ケースのフタを閉めます。（図5参照）

△警告

・フタが完全に閉まっていない状態で使用すると走行中の振動などによりふたが開く可能性があり非常に危険です。

△注意

・ケースのフタを物を挟んだ状態で無理に閉めないで下さい。ケースロック等の破損により、①ケースのフタが閉められなくなる場合があります。

2-2.キーが右（3時方向）に回された状態で、「PRESS」と書かれた三角マークの上側（☆印）付近を押さえながら下側に下ろす感じを意識してロックをします。（図6参照）

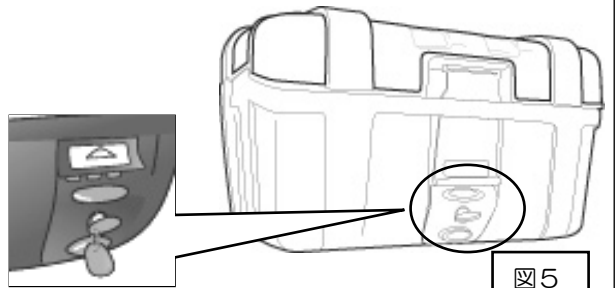


図5



図6

フラップ断面図

2-3.②キーを左（12時方向）に回してボタン類の施錠をします。この状態でキーを抜くことができ、全てのボタンがロックされると、フタの開閉はできなくなります。

△注意

・キーが回らない場合、ケースのフタがしっかりロックされているかの確認をしてください。

2-4.②キーを抜きます。

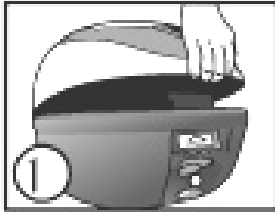
■フラップのロック状態の確認方法

キーシリンダー上のボタンを押してもロックが解除できない（フラップが開かない）場合は、ボタンが奥に引っ込んだ状態（フラップ半ロック状態）になっています。その場合は、下記の手順で解除してください。

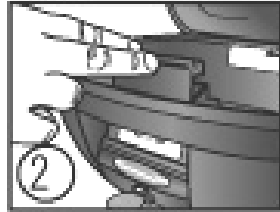


ボタンが奥に引っ込んだままになっている。

■フラップ半ロック状態の解除方法



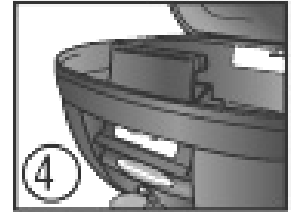
①フラップ半ロック状態ではフタはロックされておりません。抵抗がありあすが強めに引っ張ってフタを開けてください。



②フタを外すとロック部のフラップが出てきます。



③そのフラップ部を奥に倒してください。



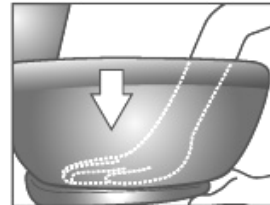
④フラップが定位置に戻り、フラップ半ロック状態が解除できます。

■より確実なベースへの取り付け方法（固定しにくい場合など）

上フタを開けた状態でケースをベースに合わせ、左手でベースを持ち上げぎみにしながら、右手でケースの底部を上から押さえロックします。

⚠注意

特に小型車などにつきましては、リヤサスペンションが軟らかく、上から押さえただけでは確実にロックがしにくい場合がありますので、必ずこの方法で取り付けてください。



■ベースへのロック状態の確認方法

ケースをベースにロックした後、必ずケースを上側に引っ張ってロック状態を確認してください。確認方法としては、キーシリンダー下側のケース取り外しボタンを押さえ、そのとき図のようにボタンの位置が、正常時より約6mm奥に引っ込んだ状態（ベース半ロック状態）になっている場合は、正常にケースがベースにロックされていません。これを解除するにはケース取り外しボタンを今一度強く押し、ケースをベースから取り外して、再度確実に取り付けを行ってください。



ご使用上の注意

- 1.原付車両ならびに車種専用のステーを使用していない車両には取り付けしないでください。また、キャリア本体の積載制限以上は積載しないでください。車体の破損・運転操作に悪影響がでます。
- 2.ハードケースは、確実に取り付け、走行前には必ずケースを持ち上げ外れない事を確認してから走行してください。
- 3.貴重品や、振動、耐熱性に劣るものの中には入れないでください。内容物の取り扱いには自己責任でお願いします。当社ではいかなる場合でも内容物に関する補償はいたしません。

JASDAQ上場企業 証券コード7228

株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

本書の記載内容の一部または全部を無断転載することを禁ず。デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、0120-60-4955 まで。営業時間 平日 午前9:00~午後6:00
URL 総合 <http://www.daytona-mc.jp> G I V I 専用 <http://www.givi-jp.com>